

# にし西

## ■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz  
毎週月曜日午前11時~

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時~

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

## ◎区民のページ 2007・11



まちの  
人

(株)近未来美術研究所

取締役博士・多目的デザイナー

あらき よしきよ  
荒木 由聖さん(33)

### □さっぽろアートステージ

11月を「札幌の文化芸術月間」と位置付け、演劇・音楽・美術など、さまざまなジャンルの芸術(アート)で街を埋め尽くすイベントとして、札幌市が平成17年度から開催しています。

3回目となる今年は、11月1日(木)~12月9日(日)の期間中、市内の8つの劇場やKitara、地下鉄駅のコンコースなど、あらゆる場所を会場にして行われます(ホームページ <http://www.s-artstage.com/>)。

【問い合わせ先】  
さっぽろアートステージ実行委員会事務局  
TEL281-7117(平日午前10時~午後5時)



七三分けの髪形に白衣姿という一風変わったスタイルの荒木さんは、西区福井に拠点を持つ「近未来美術研究所(近美)」で、三人のメンバーとともにアートパフォーマンスなどの活動を行っています。近美は、札幌市内の専門学校でコンピューターグラフィック(CG)デザインの講師をしていた荒木さんが、当時の教え子たちと「一緒に何かしたい」という熱い衝動に駆られ、平成十三年に結成しました。その後、市内のアートイベントなどで活動してきましたが、結成三年目に大きな転機が訪れます。



■西区福井の事務所で近美のメンバーと。左から2人目が荒木さん。

## 札幌のアートを盛り上げていきたい

平成十五年春、テレビ東京系列で放送されているテレビ番組「たけしの誰でもピカソ」に出演。感熱紙にアイロンなどを使って水墨画のような絵を描く「熱墨画」を披露し、著名な現代美術家の村上隆氏から高い評価を受けました。「テレビ出演を機に、それまで気軽にやっていたパフォーマンスに対する意識が大きく変わった」と話す荒木さん。それ以来、イベントなどへの出演依頼が増え、活動範囲も大きく広がりました。「それでもパフォーマンスなどで得る収入はほんの少し」と荒木さんは打ち明けます。今年四月には近美を株式会社として法人化し、ウェブデザインや建築CGの制作などをしながら活動を続けています。

「自分たちもさらに飛躍し、札幌の文化全体を盛り上げていきたい」と意気込みを語る荒木さんは「さっぽろアートステージ」にも出演しています。また、同イベントの期間中、地下鉄琴似駅の「メトロギヤラリー」ことには「では熱墨画などの作品を展示。荒木さんは「この機会にぜひ会場に来て、気軽にアートの触れてほしい」と呼び掛けています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール [nishi@city.sapporo.jp](mailto:nishi@city.sapporo.jp)、西区総務企画課広聴係(上欄へ)。